

パネラー：

池野 文昭

(スタンフォード大学バイオデザイン、Program Director)

柏野 聡彦

(日本医工ものづくりコモンズ専務理事、東京都医工連携HUB機構PM)

中澤 俊彦

(中澤経営知財パートナー 中小企業診断士、元キャノン知財法務副本部長)

中島 淳 (太陽国際特許事務所 所長弁理士、元弁理士会会長)

コメンテーター： 天野 斉 (AMED知的財産部長)

○セッション要旨 医（医療機関等）と工（企業等）の連携から新たな医療機器を開発する医工連携が活発化しており、医療機関の現場ニーズを起点とした医療機器開発
・医療機関の現場ニーズと企業の技術シーズとのマッチングなど、様々な取り組みが行われている。このような状況の中で、知財の取扱いをめぐる理由で医工連携の推進に支障が生じる事例が発生している。

日本医療研究開発機構（AMED）では、このような医工連携における知財の諸問題について平成28年度に調査研究を行い、報告書をまとめた。本セッションでは、本調査研究の委員会メンバーに登壇していただき、医と工の双方の開発インセンティブを向上させ、医療機器イノベーションをさらに促進するにはどのような取り組みをすれば良いか議論する。

○プログラム

- (1) 調査研究の概要（AMED担当者） 10分
- (2) シリコンバレー流医療機器開発（池野） 10分
- (3) 医療ニーズと企業シーズのマッチング（柏野） 10分
- (4) 企業側からの医工連携への期待と知財の取扱い（中澤） 10分
- (5) 医工連携による医療機器イノベーションを支える
知財支援人材（中島） 10分
- (6) パネルディスカッション
「医と工の双方の開発インセンティブを向上させるには」 40分

以上